

主な記事  
2・3面 2024自治労東京ライフプランセミナー  
自治労第167回中央委員会  
都本部2025年旗開き  
コラム「スト批准投票ってなに？」  
4面 私のおすすめ（ふくし保育園ユニオン 執行委員長 荒川 恵子）  
連載 私たちが働きやすい職場づくりを「岸まきこ」とともに⑦ 臨非協



千代田区飯田橋3丁目9番3号  
SKプラザ4階  
電話 03-3556-3755  
自治労東京都本部発行  
企画総務局  
責任者 松村 誠治  
編集者 須崎 崇文  
1部10円（但し組合員は組合費に含む）

# 物価高騰を上回る賃上げはここから 都本部2025春闘スタート



▲自治労2025春闘中央討論集会の様子

## 「あなたの声ではじまる春闘」 民間の賃上げを公務職場へ

2025春闘がスタートする。昨年の賃金決定闘争では、都・区ともに3年連続で全級全号給の月例給、一時金ともに引き上げとなった。しかし、月例給については若年層が大幅に引き上げられた一方で、中高年層の引き上げ幅はわずかであり、物価高騰に賃金が追いついていない。都本部は2月8日に開催する都本部2025春闘討論集会で闘争を本格化させ、すべての公共サービス労働者の持続的な賃上げを実現できるよう強く取り組みを進めていく。

昨年の2024連合春闘では33年ぶりに5%を超える高い水準の賃上げを実現し、実質賃金は27ヵ月連続のマイナスから、2024年6月、7月はプラスに転じた。しかし、その後も物価高の状況は依然変わらず、厚生労働省が発表した2024年11月の毎月勤労統計調査（速報）では、実質賃金が前年同月比0.3%減と4ヵ月連続で再びマイナスとなっている。また、11月の消費者物価指数は前年同月比2.7%増（生鮮食品を除く）、2024年1〜9月期のエンゲル係数（生活費に占める食費の割合）は28.0%と42年ぶりの高水準となっており、私たち労働者を取り巻く環境は厳しい状況が続いている。2025春闘では

連合に結集し物価高騰を上回る賃上げを引き続き求めていかなければならない。自治労本部は12月5日〜6日に2025春闘中央討論集会を開催し、25春闘方針（討議案）を提起、1月28日〜29日の第167回中央委員会で方針を確立した。自治労は春闘を「1年の取り組みスタート」と位置付け、改めて労使関係ルールの確立をはかり、賃金のみならず職場における働き方の改善や、人員確保、ジェンダー平等の推進、ハラスメント対策などの多岐にわたる課題について、当局に要求・交渉する重要な機会としている。自治労25春闘方針では人員確保を最重要課題に据える。頻発する自然災害、感染症等の対応において、被災自治体・支援自治体ともに人員不足が浮き彫りとなっており、特に被災自治体では、復旧・復興の長期化で職員の心身への影響による離職などで、さらなる人員不足が発生している。どの自治体も同様に被災する恐れがあること、そして被災せずとも災害支援対応が想定されることから、平時から緊急時に対応が可能な人員の確保と配置を求めることが重要となる。

自治労では本年も「あなたの声ではじまる春闘」をキーワードに、組合員一人ひとりの声を集めて、要求を実現するという労働組合の原点に立ち返る。労働組合が要求する事項は、給与改定、制度改正などに伴う賃金・労働条件の改善、人員確保に限らない。身の回りの職場課題など、小さな困りごとであっても職場改善につながることは「声」を集めて当局に要求していくことが重要だ。一朝一夕とはいかずとも、一人ひとりが「声」をあげていかなければ現状は変わっていかない。質の高い公共サービスを安定的に提供するため、春闘期から政策・予算の観点も含めた人員確保を勝ち取る。

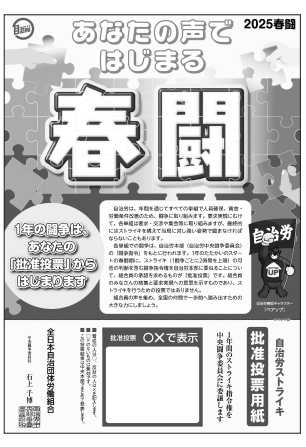
全員の投票で、組合員の要求実現に  
むけた大きな推進力としよう！

## 賛否の表示に○を！

投票期間 1月30日(木)〜2月7日(金)

自治労は、春闘期に自治体または雇用主に対し要求書を提出し、1年の賃金・労働条件闘争をスタートさせます。

批准投票の「批准」には、「最終的確認と確定的同意を与える」との意味があります。投票率そして批准（賛同）率が高いほど**要求実現を望む組合員の強い「意思」を示すことになり**、交渉にむけての大きな力となります。働き方や職場環境をより良いものとするための、皆さんに最終的意思確認となる批准投票への積極的な参加をお願いいたします。



「自治労ストライキ批准投票」は、1年のたたかいのスタート期である春闘期に、1回につき2時間を上限とするストライキの可否の判断を含む闘争指令権を自治労本部に委譲することについて、組合員の承認を求めるものです。したがって、ストライキを行うための投票ではありません。

もう遅いか。（篠崎）

の原点に立ち返る。労働組合が要求する事項は、給与改定、制度改正などに伴う賃金・労働条件の改善、人員確保に限らない。身の回りの職場課題など、小さな困りごとであっても職場改善につながることは「声」を集めて当局に要求していくことが重要だ。一朝一夕とはいかずとも、一人ひとりが「声」をあげていかなければ現状は変わっていかない。質の高い公共サービスを安定的に提供するため、春闘期から政策・予算の観点も含めた人員確保を勝ち取る。

| 都本部2025春闘 闘争スケジュール(案) |                |
|-----------------------|----------------|
| ●要求書提出期限              | 2月21日(金)       |
| ●回答指定日                | 2月28日(金)       |
| ●交渉ゾーン                | 3月3日(月)〜13日(木) |
| ●都本部統一行動日             | 3月14日(金)       |

東奔西走

解散した国民的アイドルグループ「S」のリーダー格で広く人気のあるメンバーN氏が、女性とのトラブルを週刊誌に報じられたことからネット上で集中砲火にあっている。一方、このグループのもう一人の中心メンバーK氏が、N氏のトラブルに際し大人の対応をとったとして賞賛の嵐となっている▼この二人、所属グループの解散時には「一人事務所に残った真切者のK」に対し「他のメンバーをも救った人格者のN」として、K氏が一方的に攻撃されていたものである。一つのきっかけで論調が180度変わるネットの記事は余りにも無責任だな、と感じてしまう▼投稿者の「たぶんこうだろう」「こうなったらいい」という憶測や願望によってどんどん展開され、いつの間にかそれが既成事実となってしまうのがネット社会の怖さである。かくなる私もネットの記事には流されがちだが、今年こそは「幅広い見地」と「ブレない信念」を身に着けたいものである。

自治労組織内候補予定者

地方・地域を「きし」快晴！

自治労東京都本部は、第49回中央委員会において第27回参議院議員選挙全国比例区における自治労組織内候補予定者に「岸まきこ」(現参議院議員)の推薦を決定しました。

岸 まきこ





シネマジャーナル  
編集者  
穂雲 萌

## 『Brotherブラザー 富都(ブドウ)のふたり』

監督：王礼霖(ジン・オング)

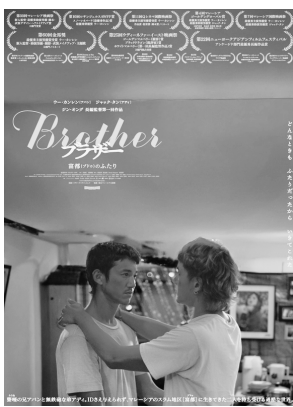
スラム街で、支え合いながら生きる兄弟の物語

マレーシアの首都クアラルンプールのスラム地区「富都(ブドウ)」。荒廃したその街で、支え合って生きる兄弟の過酷な人生を描き、世界各国の映画祭で賞を受賞しているマレーシア・台湾合作映画。

多く暮らしている。身分証明書(ID)を持たない兄アバンと弟アディもここで暮らしている。アバンは聲唾というハンディを抱えながら、市場の日雇いで堅実に生計を立てているが、アディは簡単に現金が手に入る裏社会の仕事をしていて常に危険と隣り合わせ。そんなある日、実父の所も二人は生きてこられた。

父も母もいないが、こんな暮らしの中、見守ってくれ、助けてくれる近所の人たちがいて、貧しいながらも二人は生きてこられた。

台湾の俳優ウー・カンレンが兄アバンを熱演し、マレーシアの俳優ジャック・タンが弟アディを演じた。ウー・カンレンは、台湾の第60回金馬奨(2023)で最優秀主演男優賞を受賞。ジン・オング監督は、これまで社会派作品をプロデュースしてきたが、この作品で長編初監督・脚本を手がけた。文化的アイデンティティや、社会的不平等、政治腐敗などの問題を浮き彫りにし、マレーシア社会の複雑さを捉える視点を盛り込んだ作品。



●劇場公開 2025年1月31日～  
ヒューマントラストシネマ有楽町  
03-6259-8608、シネ・リーブル池袋  
03-3590-2126、kino cinema 立川高島屋SC館 042-512-5162にて公開  
©2023 COPYRIGHT. ALL RIGHTS RESERVED BY MORE ENTERTAINMENT SDN BHD / ReallyLikeFilms

在が判明したアディにはID発行の可能性が出てきた。しかし、事件に巻き込まれ、IDを得るのが難しい状況が出てきて、二人の未来に重く暗い影が及び寄る。

父も母もいないが、こんな暮らしの中、見守ってくれ、助けてくれる近所の人たちがいて、貧しいながらも二人は生きてこられた。

台湾の俳優ウー・カンレンが兄アバンを熱演し、マレーシアの俳優ジャック・タンが弟アディを演じた。ウー・カンレンは、台湾の第60回金馬奨(2023)で最優秀主演男優賞を受賞。ジン・オング監督は、これまで社会派作品をプロデュースしてきたが、この作品で長編初監督・脚本を手がけた。文化的アイデンティティや、社会的不平等、政治腐敗などの問題を浮き彫りにし、マレーシア社会の複雑さを捉える視点を盛り込んだ作品。



## 『自転車通勤と朝活』

ふくし保育園ユニオン 執行委員長

荒川 恵子

コロナウイルス流行で緊急事態宣言が出た頃、私の職場は出勤しなくてはならず、電車通勤をやめて自転車通勤することにした。片道40分程掛かるが、やってみるとけっこう快適でコロナ禍の運動不足解消には丁度良かった。今まで知ら

なかつた道を通ってみた。新しいお店を見つけた。空や花を見て季節を感じたり、色々考え事したり。新しい発見があった。自分の気持ちの整理やリフレッシュには丁度良い時間となっている。年齢と共に足腰の衰えを感じてい

たこともあり、適度な運動にもなった。暑くなると適度に汗をかき、帰宅後のビールが美味しいことにも小さな幸せを感じた。

それとともに始めたのが「朝活」である。

最近朝早く目覚めることが増え「年だな」と感じていたが、「これをプラスに考えよう」と朝活を始めた。大したことはやっていないが、いつもより良いコトレッチを見ながら通勤で見つけた良さそう



●出身地：埼玉県  
●組合歴：2022年～執行委員長

たこともあり、適度な運動にもなった。暑くなると適度に汗をかき、帰宅後のビールが美味しいことにも小さな幸せを感じた。

それとともに始めたのが「朝活」である。

最近朝早く目覚めることが増え「年だな」と感じていたが、「これをプラスに考えよう」と朝活を始めた。大したことはやっていないが、いつもより良いコトレッチを見ながら通勤で見つけた良さそう

### 協非臨

## 私たちが働きやすい職場づくりを「岸まきこ」とともに⑦

連載

都本部は、2023年9月の第49回中央委員会において自治労組織参議院議員の「岸まきこ」さんを2025年に行われる第27回参議院議員選挙の組織内候補予定者として推薦決定しました。本連載では各組織代表者の皆さんから、働く上での課題と各組織の取り組み紹介とともに、なぜ私たちの声を国政に届けなければいけないのか、についてお話をいただきます。第7回は臨時・非常勤協議会長の佐々木美穂さんにお話を聞きました。

①評議会について簡単にご紹介ください。構成する仲間の皆さんの職域について教えてください。

募りによらない再度の任用」の回数制限の撤廃を勝ち取り、情報を得るとともに、私たちの経験による能力を正しく評価されています。更に、関東甲地連や全国の仲間との繋がりを大切に、大きな視点を大事にしています。

自治労東京都本部に加盟する単組の臨時・非常勤職員(会計年度任用職員)の、もうでない所もあり、また常勤職員のような昇給制度は取り入れられておらず、そもその賃金の設定の低さも課題です。無給休暇の有給化も進んでいます。

②現在、評議会の組合員が直面している職務上の課題や問題点を教えてください。

一定の処遇改善は見られ、構成される自治体単組との連携は必須であり、集会や学習会にも積極的に参加

③これらの課題に対して、評議会としてどのような取り組みを行っていますか？

年に数回、幹事会や単組代表者会を開催し、各組合の情報交換を図り、日々の活動の参考としています。現には、国政を動かす力が必要で、岸まきこ議員の幅広い知識を活動に役立てています。常勤職員で協議会を挙げて応援していきたいと思っています。常勤職員の組合員の皆様、同じ公務を担う者として、また自治労の組織・運営に関わる者として、ともに頑張りましょう。



臨時・非常勤協議会  
議長 佐々木 美穂  
(調布市福祉・教育ユニオン)

一定の処遇改善は見られ、構成される自治体単組との連携は必須であり、集会や学習会にも積極的に参加

# 岸まきこ

立憲民主党  
参議院議員(自治労組織内議員)

声を力に、一歩前へ

自治労の  
政策要求を  
実現しよう!



岸まきこ 公式サイト  
kishimakiko.com/  
岸まきこ 検索

自治労は、第27回参議院選挙の全国比例区に「岸まきこ」現参議院議員の擁立を決定しました。

### 岸まきこ(岸真紀子)プロフィール

1976年北海道岩見沢市(旧栗沢町)生まれ。94年旧栗沢町役場入職(現岩見沢市)。2013年から自治労中央執行委員。19年第25回参院選(全国比例区)で初当選。現職に至る。